



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 平成 26 年 7 月 1 日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課  
085-0805  
釧路市黒金町 7 丁目 5  
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyoku/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

## くしろ「木づな」プロジェクト

### 平成 26 年度市民学園講座「子どもチャレンジ」で木工教室を実施

円卓会議の関わりは 3 回目。今年は「くしろカラマツ宝箱」。

#### 【概要】

釧路森林資源活用円卓会議の構成員である、「釧路建具家具生産協同組合」が中心となり、地元産カラマツの PR の取組みとして、釧路市生涯学習センター（まなぼと幣舞）で小学生を対象とした木工教室（主催 一般財団法人釧路市民文化振興財団）を実施しました。

- 日 時 平成 26 年 6 月 28 日（土）9:30～12:00
- 場 所 釧路市生涯学習センター（釧路市幣舞町 4-28）



#### 【実施内容】

小学校 4 年生～6 年生を対象にした、地元産のカラマツ材を使った木工教室です。対象は 25 名でしたが、多数のお申し込みを頂き 30 名に変更しました。今年は「くしろカラマツ宝箱」。中には A4 が入る大きさ・・・正直、難易度高いです。

最初に、北海道認定の木育マイスターである鈴木憲太郎（丸善木材(株)）さんが、釧路管内の木がどのようにして使う人の手に渡っているのかを学ぶ木育教室を実施、子どもたちに木の大切さを伝えました。

その後、「宝箱」製作開始。キット化はされているものの、まずはどこにねじ止めするかを決めなくてはなりません。子どもたちは毛引きや物指、鉛筆を使って印を付け、電動ドリルで下穴を開けていきます。その数 40 箇所！。初めのうち椅子に腰かけながら作業をしていた子どもたちも、立ち上がり、材料を抱え奮闘しはじめました。穴を開けたら木ねじで組み立て、これも電動ドライバーを使うなど大人の作業工程と変わりせん。蝶番や掛金、ストッパーなどの場所決め、ねじ止め。全員が予定時間をオーバーしつつも何とか完成。太鼓鉦まで仕上げた「職人」も現れるなど、まさに「チャレンジ」の木工教室になりました。



▲（上）木育マイスターによる木育教室  
（下）「くしろカラマツ宝箱」づくり

講師：釧路建具家具生産協同組合（大津製作所（大津）、トンネル家具建具工業（梅上）、一色建具製作所（五十嵐）、遠藤木工（遠藤）、小関建具家具製作所（小関）、玉垣木工（田中）、得地ファニチャ工業（得地））、釧路工業技術センター（瀧本）

#### <釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha（全道の市で 1 位）。まさに釧路市は「森林都市」。「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を平成 22 年 11 月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室  
（担当）佐藤 圭  
TEL : 0154-31-4550  
FAX : 0154-22-8972